

演 題 名	医療費負担アンケートを行って		パソコンスライド・ポスター
院所・事業所名	松山ハロー薬局	部 署	
発 表 者	池田	職 種	薬剤師
共同研究者	松山ハロー薬局社保委員会		

【はじめに】

改革という名の医療費負担や増税が私たちの生活を脅かそうとしている中、松山ハロー薬局を利用していただいている患者様の生活実態を知り、何かお手伝いできたらと思いアンケートを実施することにしました。

【調査方法】

期間：2006年5月 1ヶ月間

方法：処方箋受付時にアンケートを渡し、待ち時間に記入いただき投薬時に確認し回収。

対象：松山ハロー薬局ご利用の患者様

アンケート内容：毎月の医療費負担額 医療費負担の生活への影響 医療費負担対策 医療費負担で困っていることは？ 薬の負担について聞きたいことは？ 社会制度について聞きたい(活用したい)ことは？

【結果・分析】 回答数 789人

毎月の医療費負担は？

～4999円	394人	15000～19999円	37人
5000～9999円	234人	20000円以上	25人
10000～14999円	61人	記入なし	38人

医療費負担が生活に影響している397人 負担が5000円をこえると7割の方が影響していると回答。

医療費負担の対策について 生活を切り詰めている33% 通院回数減らしている13%

薬を自己調節している5%

医療費負担で困っていること 国保料支払い困難13人 これ以上生活を切り詰められない149人

どこに相談したらよいかわからない21人

薬の負担について 減らせないか77人 ジェネリックに変更できないか231人 あわせて4割

社会制度について聞きたい441人 国民健康保険料免除101人 障害者支援制度29人

生活保護制度20人 高額医療費141人 介護保険料免除112人

【その後の対応】

ジェネリック変更希望でアンケートに記名いただいた患者様については、来局時にジェネリックについてご説明し変更可能な薬剤を服用中の患者様についてはジェネリック変更希望カードをお渡しし、次回受診時にDr.に話していただくよう説明した。薬剤を準備し、次回来局時Dr.の記名を確認しジェネリックに変更していった。

生活保護制度について聞きたいと希望のあった患者様には、投薬時に生協病院介護相談室を紹介した。

9月13日に国民健康保険料、介護保険料の支払い減免制度について、9月27日に障害者支援制度、高額医療費支給制度について生協病院より介護相談室と医事課職員に講師を依頼し学習会を行った。

【最後に】

4月から薬局でジェネリックに変更ができるようになり、今回のアンケートを役立てながら患者様の医療費削減に少なからず力になれた、社会制度学習会は患者様の参加もあり質問・意見もよせられ盛り上がりを見せた、職員もいろいろと学習ができよかった。アンケートを通して日々触れ合っている患者様もいろいろな事情をかかえ、大変な思いをしながら通院・来局をされている方がいらっしゃることを改めて考えさせられた。記名いただけなかった患者様の中にもアンケートを見る限りで苦しい生活をされていると想像される方もおられた、日々の調剤活動の中でもアンテナの感度を高め業務にあたるのが大切であると感じた。